

じいちやんとこのやくそく

六日市小学校 五年 佐々木 順徳

ぼくは、休みの日になるとじいちやんばあ
ちやんの家へよくとまりに行きます。川で魚
つりをしたり、野菜の収穫をしたり、大白
然の中でいろいろなことをするのが大好きで
す。竹のこぼり、茶つみ、くり拾い、しいた
けのきんつけなど、ぼくにいろいろなことを
させてくれ教えてくれます。この前は、はり
なわで、うなぎが取れました。

じいちやんたちは、畑で野菜を育てたり山
で木を育てたりしています。前は、田んぼで
お米も作っていました。年をとって田んぼ
の仕事が大変だということ。今はやっています
せん。

じいちやんは、ぼくを軽トラに乗せて山へ
もよく連れて行ってくれます。ぼくは、山へ
行くのも大好きです。山は、生き物がたくさ
んいるし、空気もいいし、すずしいので気分
が、スカッてします。じいちやんは、山に行

った時ぼくに、

「この山は、ゆうちゃんとしゅうちゃんに

あげるけえ、しっかり守ってねえし。

と言ってくれます。山には、ひの木や杉の木

が植えられています。五十年前に植えた木だ

と言っ、ていきました。木はゆっくりに

さくなるんだなあと思ひました。それに木を

育てるには、さまざまの仕事があることをい

いちやんは、教えてくれます。

夏休みに、じいちやんと木の下の草かりを

しました。ぼくは、ばあちゃんの草かり機を

使って草をかりました。気持ちがいいほど草

かかれるので楽しかったです。その後、かま

でえだうちをしました。思っ、たよりが人たん

にできました。じいちやんは、はしごをかけ

て高い所まできれいにえだを切るので大変だ

なあと思ひました。ぼくも早く、じいちやん

みたいの本かく的にえだうちができるように

なりたいです。

前に、問はつもしました。木と木の間の木

を切りたおして、木の根元まで日光がよく当
 たるようにするそうです。いいちゃんと一緒に
 にチェーンソーを使って木を切りたおしました。
 少しこわかったです。切った木を軽トラに乗
 せて、いいちゃんも売りに行きました。軽
 トラに乗ったまま木の重さをはかり、重さで値
 段がきまると言った。いました。この木は、
 1ツトになるそうです。

いいちゃん、今年で七十六才ばあちゃん
 は七才です。やさしいいいちゃんばあちゃん

んがぼくは大好きです。いいちゃんばあちゃん
 には長生きしてほしいです。ぼくはこれか
 ら、大切に育ててきた木を、いいちゃんたち
 と一緒に大事にお世話をしていきたいと思
 います。いいちゃんか元気なうちに、いろ
 なことを教えてもらい、いつかは、ぼくが
 人で山の仕事ができるようになりたいです。
 先祖代々受けつがれてきた山を守っていき、
 ぼくの子どもにもつたえていきたいと思いま
 す。ぼくにまかせてねいいちゃん。